

令和4年度 年間指導計画

教科・科目	国語・国語表現	学年	第3学年	教科書	大修館書店 「国語表現 改訂版」
		単位数	2単位	副教材	

学習目標	国語で適切かつ効果的に表現する能力を養い、伝え合う力を高めるとともに、思考力を伸ばし言語感覚を磨き、進んで表現することによって社会生活を充実させる態度を養う。
------	---

学習方法	○自分の考えや気持ちを相手に理解してもらるように話したり、話し手の意図を考えながら話の内容を聞き取ったりする。 ○学習の中から課題を見付け、書いた文章を読み返し、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて読みやすくわかりやすい文章を書く。
------	--

学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨		
	a	関心・意欲・態度	国語に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図り、進んで表現するとともに、伝え合おうとする。		
	b	話す・聞く能力	自分の考えをまとめたり深めたりして、目的や場面に応じ、筋道を立てて効果的に話したり的確に聞き取ったりする。		
	c	書く能力	自分の考えをまとめたり深めたりして、相手や目的に応じ、筋道を立てて適切かつ効果的に文章に書く。		
	d	知識・理解	表現と理解に役立つための音声・文法・表記・語句・語彙・漢字等を理解し、知識を身に付けている。		

学期	時間数	指導事項	単元の評価規準	評価方法	主な学習活動	単元(題材)
前期	6	自己の考えや思い、見た事などを書くことによって伝える。過不足なく伝えることにはスペを伝えることではないことを理解する。自分の伝えたいことが正しく相手に理解されているかを確認する。	a: 話題や題材に応じて情報を収集し、分析して、自分の考えをまとめたり深めたりすることができる。 b: 自己の考えや思いを言葉にすることができる。 c: 的確な表現を用いることができる。 d: 語彙力を高めることができる。	・観察 ・発問評価 ・ノート提出 ・作品の提出 ・授業時の小テスト ・ワークシートの作成と提出 ・意見の集約や発表 ・各提出物	・自己の考えや思いを相手に正確に伝えられる文章を書く	書いて伝える
	6	論文の型式や論文のポイントを知る。自己の主張が明確な理由をもって記述されていることを理解する。関心をもった事柄について調査したことを整理して、解説や論文などにまとめること。	a: 論文の型式を理解できている。 b: 自己の考えや思いを言葉にすることができる。 c: 主張や感動などが効果的に伝わるように、論理の構成や描写の仕方などを工夫して書くことができる。		・テーマに沿って小論文・レポートを書く	小論文・レポート入門
	6	自己の有り様を理解し、他者に伝えるためにはどのようにしたらよいかを理解する。面接のhow toについて知る。自己PRを含めた面接を体験する。	a: 自己の有り様に興味を持つことができる。 b: 話すことによって自己を表現することができる。 c: 面接の準備や模擬面接を体験することによって、自己PRを含めた応答ができる。 d: 自己の内面を表現できる語句を習得できている。		・自己の有り様を理解し、自己PRや面接を体験する	自己PRと面接
	4	多種多様な伝達の仕方を理解する。話題や題材などについて調べてまとめたことや考えたことを伝えるための資料を、図表や画像なども用いて編集すること。	a: 話すことに対する意欲や関心を持つことができる。 b: 的確な伝達手段を活用して伝達することができる。 c: 伝達すべき内容を整理することができる。 d: 伝達の仕方が理解できる。		・テーマについてメディアを駆使し、まとめ、発表する	メディアを駆使する
	6	様々な考え方ができる事柄について、幅広い情報を基に自分の考えをまとめ、発表したり討論したりすること。聞き手にわかりやすいよう、表現や話し方を工夫して自分の意見を述べる。他の人の発問評価を的確に聞く。	a: 自己の考えをまとめて話すことの大事さに興味を持つことができる。 b: 相手の立場や異なる考えを尊重して課題を解決するために、論拠の妥当性を判断しながら話し合うことができる。 c: 発表のための原稿が整理できている。 d: 話し言葉の量を豊かにする。		・テーマに沿って情報収集し、まとめ、それを元に発表する	会話・論議・発表
	10	「書き言葉」・「話し言葉」はどのようなものであるかを理解し、自分の表現活動を振り返る。自分が言いたいことを、自分で考えた言葉を用いて、回文・折り句・しりとりなどの作品にする。	a: 言葉について、理解しようとしている。 c: 書き言葉と話し言葉の差異について理解を深めることができる。回文・折り句・しりとりなどの音の響きのおもしろさや意味の広がりや豊かさについて理解できている。 d: 国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などについて理解を深めることができる。	・「書き言葉」・「話し言葉」の違いを理解し、回文・折り句・しりとりなどを作成する	言葉で遊ぶ	

後期	10	<p>詩歌をつくったり、鑑賞したことをまとめたりすること。詩歌の言葉から創造する世界の構築を試みる。詩歌の鑑賞を通じて他者の物見方や感じ方を知る。</p>	<p>a：詩歌の様々な型式や詩歌の世界を理解しようとしている。 b：朗読によって詩歌のリズムを味わうことができる。 c：自己の創作世界を表現することができる。 d：様々な表現についてその効果を吟味したり、書いた文章を互いに読み合っって批評したりして、自分の表現や推敲に役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・発問評価 ・ノート提出 ・作品の提出 ・授業時の小テスト ・ワークシートの作成と提出 ・意見の集約や発表 ・各提出物 	・詩歌を作る	詩歌を楽しむ
	8	<p>的確なまた印象的な表現によるアピールのあり方を考える。言葉だけが伝達の手段ではないことを理解すると共に文字もつ印象について理解する。配置による印象やイメージの違いについて理解する。</p>	<p>a：言葉とイメージについて興味を持つことができる。 c：言語とシンボルの関連を認識することができる。 d：印象的なポスターについて理解し、作成することができる。</p>		・ポスターや広告を作る	魅力的なポスターを作ろう
	8	<p>辞書や図譜を作るための素材を集めて、話し合う。短いエッセイや短いパロディに挑戦する。ディベート・模擬裁判・劇に挑戦する。</p>	<p>a：社会・人事・自然などについて興味関心を持つことができる。 b：話し合いの手順を理解し、その手順を活用することができる。 c：多様なものの見方や感じ方を理解し、表現できる。 d：自己の価値観を高める。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・辞書を作る ・ディベートをする ・シナリオを作り、リーダーズシアターを行う 	様々な表現に挑戦する
計	64					